



**VOL 0**

(発行準備号)  
 発行 2007 年 6 月 20 日  
 日本山岳会 山岳地理クラブ  
 URL www.jac.or.jp/doukoukai/

**会報発行について**

このたび山岳地理クラブの会報を実験的に発行することを提案します。

日本山岳会 100 周年記念事業の一環として進められて来た中央分水嶺踏査は 2006 年 11 月に全てのルートが完踏され、日本列島が一本の線で繋がった。我が山岳地理クラブもこの事業に参加し、甲子峠から大川峠まで約 25km を踏査した。踏査回数は 10 数回に及び、2006 年 5 月に最後の赤柴山の西約 1km に達し、担当ルートを繋げる事ができた。同年 6 月に信濃支部と分水嶺委員会共催でフィナーレ山行が行われ、八島ヶ池ちかくで完了のセレモニーが行われ、完了宣言をした。その後未踏さ区間が判明し、山岳地理クラブの活躍で全区間が完了しました。

今年 2 月、報告書の刊行と同時にフォーラムを開催しその内容を報告するに至り、踏査事業が完了。3 月 17 日に羽鳥湖スキー場にて打上げ山行を実施。雪の鎌房山に再度挑んで山頂で祝杯を挙げたことは記憶に新しいことです。

記念事業が終了したものの、まだその余韻が続く中、山岳地理クラブとしても、この活動内容を後世の記録にとどめるべく、記憶の鮮明なうちに纏めることが必要と考えるに至り、同時に今後の会の運営の計画や、会員の意見を纏めるために会報を出し会合に出席できなかった会員にも会の動向を知っていただき、意見交換の場を作ったらどうだろうとの意見が持ち上がり、実施について思考中でした。

考えているだけではなかなか前に進まないことはあきらかです。まずは実験的に始めてみようと思う次第です。当面、近藤がその担当をしますが、協力いただける方には是非お願いし、より会にふさわしいものにしたいと思ひます。原稿は随時募集いたしますが、掲載方法や編集は一任ください。また会員の方や協力者に原稿作成をお願いする事がありますので、是非協力願ひます。

この会報が未永く継続し、AGC の活動を通じて有用な資料集になればいいなと願うものです。なお基本的には pdf ファイルで Eメールによる配信を基本としたいのですが Eメール不

可の方も、郵送ができるように配慮したいと思います。この作業を担当していただける方を同時に募集いたしますのでご一報ください。担当いただけない場合は、会合日に配布のみということになるかもしれません。

というわけでサンプル版をつくってみました  
 内容についてはこれから吟味いたしますが、雰囲気のみ参考にしていただければと思います。



踏査中の AGC 会員

**タイトル名募集**

表題に付けたタイトル 「AGC レポート」は仮です  
 この会報にふさわしい 名前 ロゴ を募集します  
 例 「山岳地理」

「アルパイン ジオグラフ」

次回ミーティングで決定したいと思います

提案は 近藤 まで連絡ください

また、会報全般にわたって、ご意見 ご提案 も宜しくお願いします

**コラム**

**映画 剣岳 2009 年公開予定**

男たちの仕事がメインテーマ

100 年前、北アルプス立山連峰の剣岳に挑んだ陸軍参謀本部陸地測量部・柴崎芳太郎が登頂を果たしたとき いままで誰も登った事がないと云われた険しい頂上で錫杖を発見...、「剣岳・点の記」新田次郎の小説は実際にあった出来事を小説化したものだが、この小説が映画化されることになった。「八甲田山」「鉄道員」などの撮影監督をつとめた木村大作の初監督作品で、2009 年公開予定で、すでに雄山周辺で実景ロケが開始されている。今年 9 月までに配役が決まり本格的な撮影が開始される。

当然当時の測量の様子も取り入れられると思うが、山の厳しさ、

素晴らしさを知る中で、認められない仕事をしなければならぬ  
 測量登山の苦しみや自然との関わりがメインテーマのようで、  
 公開が楽しみである。 雑誌「地図中心」6 月号より



剣岳の朝

最近の HP でキャストが発表されていました

柴崎芳太郎・浅野忠信、長次郎・香川照之  
 生田・松田龍平、小島鳥水・中村トオル  
 (東映 HP より)

## 読図講座の開催について

北野 忠彦

9月より読図研修を開始いたします。

最終までは1年半くらい時間を要するかもしれませんが、平地、入門、中級、上級に分けてありますので、最初から全部に参加しなくても、また途中から参加したい方は途中から参加することも可としますし、途中で辞めたい方は途中だけでもOKとします。ただし、今回の研究発表終了時までの研修参加者は地理クラブ会員のみとし、他のクラブや組織の方の参加はご遠慮戴きます。また、ここに参加する方は、パーソナルデータ（別途明記）を提出してから参加して下さい。

GPS持参者は、GPSの研修以外では可能な限りGPSに頼らないようお願い致します。

高度計をお持ちの方は、毎回高度計を忘れぬよう持参して下さい。

### 読図研修内容(案)

1. 解説 総合説明と地図の読み方
2. 平地 1 建物密集地域での読図 (都内23区内で)
3. 平地 2 障害物が無い地域での読図  
(2-3キロ何も無い茨城県の田んぼの中で)
4. 入門 1 ハイキングコース上での読図  
(地形方向距離判断。場所 未定)
5. 入門 2 ハイキングコース上での読図  
(地形方向距離判断。場所 未定)
6. 入門 3 軽い藪の読図  
(目的地設定・地形方向距離高度判断。場所 未定)
7. 入門 4 下りの分岐判断力  
(目的地設定・地形方向距離高度判断。場所 未定)
8. 中級 1 コースを意識しない読図  
(目的地設定・ルート地形方向距離高度判断)
9. 中級 2 距離が長い読図コース  
(目的地設定・ルート地形方向距離高度判断)
10. 中級 3 距離が長い読図コース  
(目的地設定・ルート地形方向距離高度判断)
11. 上級 1 猛獣でのブラックアウトを体験  
(盲目状態での方向距離高度判断)
12. 上級 2 吹雪の中でのホワイトアウトを体験  
(盲目状態での方向距離高度判断)
13. 上級 3 総合読図 (総合演習)
14. GPS入門 GPSの解説、マップポインターの利用
15. GPS応用 GPSを利用しながら歩く
16. GPS上級 (軌跡、ポイント、アップダウンロード)
17. 各自研究発表(課題研究)
18. 各自研究発表(課題研究)

なお、各研修の詳細は別途お知らせいたします

### パーソナルデータについて

今井秀正

会員のパーソナルデータをとりまとめることにしました。これは事故などの緊急を要する事態の対応の為です。個人情報保護の面と相反しますが、必要不可欠だと判断しましたので従ってください。

次号で詳細を報告いたします

### 行きましょう！ 月例山行計画のお知らせ

\*この欄には山行計画の内容や募集事項を掲載いたします

### 行ってきました！ 会員の山行報告

\*この欄は会員の個人山行の報告です

随時報告ください

日時、山名、パーティ数、コース概略、感想・・・等  
特に山岳地理に関連する内容は優先的に掲載します

### 図書・資料の紹介

\*会にふさわしい図書や参考文献の紹介欄

(譲ります)(探しています)でもOK

新刊：山村正光著 **地図に訊け**

ちくま新書 筑摩書房 700-

雑誌「地図中心」6月号(通巻417号)

日本地図センター ¥480-

特集：剣岳測量100年

### 例会の議事録

2007年6月6日(水)19:00~21:00

出席11名(北野、平野、今井、高橋、鶴田(実)、鶴田(泰) 半田(明)、半田(由)、羽鳥、大西、近藤)(順不動)

内容 1、会の運営について 2、読図計画の実施、次回詳細 3、測量展の紹介(近藤)、グーグルアースの活用(近藤)ほか

終了後「鮎の家」にて懇親会

### お知らせ

#### 新入会員

\*新規入会者の紹介欄です

(6月1日現在 26名)

#### 会計より

2007年度の会費を未納の方はすみやかに納めください

年会費 ¥1,000-

会計担当 高橋まで(連絡先 03-0000-0000)

#### 次回の例会

日時 7月4日(水) 18:30から

場所 山岳会 ルーム

テーマ：読図講座 ほか

ミテイング 終了後の懇親会も出席ください

#### 編集後記

会報発行は会の運営形態を明確にしてからでもいいのでは・・・という意見もありましたが、しばらく実験的に発行することにしました。毎月第4水曜日までに手元に届くようにしたいと考えています。ついては第2水曜までに原稿を近藤宛送付ください(kon)

AGC vol-0 2007年6月20日発行

発行：日本山岳会・山岳地理クラブ

〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付

TEL 03-3261-4433 FAX 03-/3261-4441

編集担当：近藤善則 E-mail: hikarikon@nifty.com